

「善通寺市総合政策審議会の設置（案）について」に対する意見と市の考え方

意見の内容	意見に対する市の考え方
<p>内部のことはよくわからないけれど、部署間の連携不足を感じることもある。</p> <p>一般企業でもありがちなことではあるが、善通寺市のような小さなエリアのコンパクトな市役所でそういったことが起こるのは好ましくない。</p> <p>コンパクトさを活かしたスピードある対応ができる部署を新設してはどうか。</p> <p>部署間の業務内容を網羅して、特に市民向けのものは部署を問わず対応できる部署を作る。市民と担当部署の仲介をする。お客様センターとか相談係とか、すでにあるものだが有効なものを取り組んでみてはどうか。</p> <p>市における問題点や改善点、事業提案を検討するときに、会議のメンバーが職員や特定の市民に偏っていないか。</p> <p>市内には全国で仕事をやって退職して帰ってこられている人が少なからずいらっしゃると思う。自衛官であったり、民間企業の管理職、研究者等、そういった人を市の方から積極的にアプローチして、外部から見た善通寺市の問題点や長所、全国における善通寺市の立ち位置とかの意見を出してもらえば、斬新なアイデアが生まれるかもしれない。</p> <p>また、自衛官や農事試験場関係者、四国学院大学や尽誠学園の在籍者、そういう隠れ善通寺在住経験者を何らかの形で、ネットワークを作れば、近隣の市町にない、善通寺市の有利さを発見することができると思う。</p>	<p>ご指摘をいただきました部署間の連携については、本市の重要な課題であると認識しています。正規職員数の削減を最重要課題として取り組んできた行政改革について、社会情勢の変化や行政ニーズの多様化など、行政を取り巻く環境の変化に対応するため、行政機構を硬直化させず、柔軟に変化する組織を目指すと共に、利用者に優しく機能的な市役所を実現するため、新たな行政改革が必要となっています。今回設置する新たな審議会における重要なテーマの一つであると考えています。</p> <p>また、この審議会は、行政改革のみならず、地方創生や、デジタルに関すること等広範囲に及ぶ事項を審議することとなりますので、委員の選定につきましては、特定の偏りが無いよう留意し、多様なご意見が反映できるよう努めてまいります。</p>

善通寺市が未来永劫住みやすく、安全な街であり続けられるよう、今真剣に取り組んでいただきたい。

微力ながら、自身のできることは最大限努力しますので、いつでもお声掛けください。